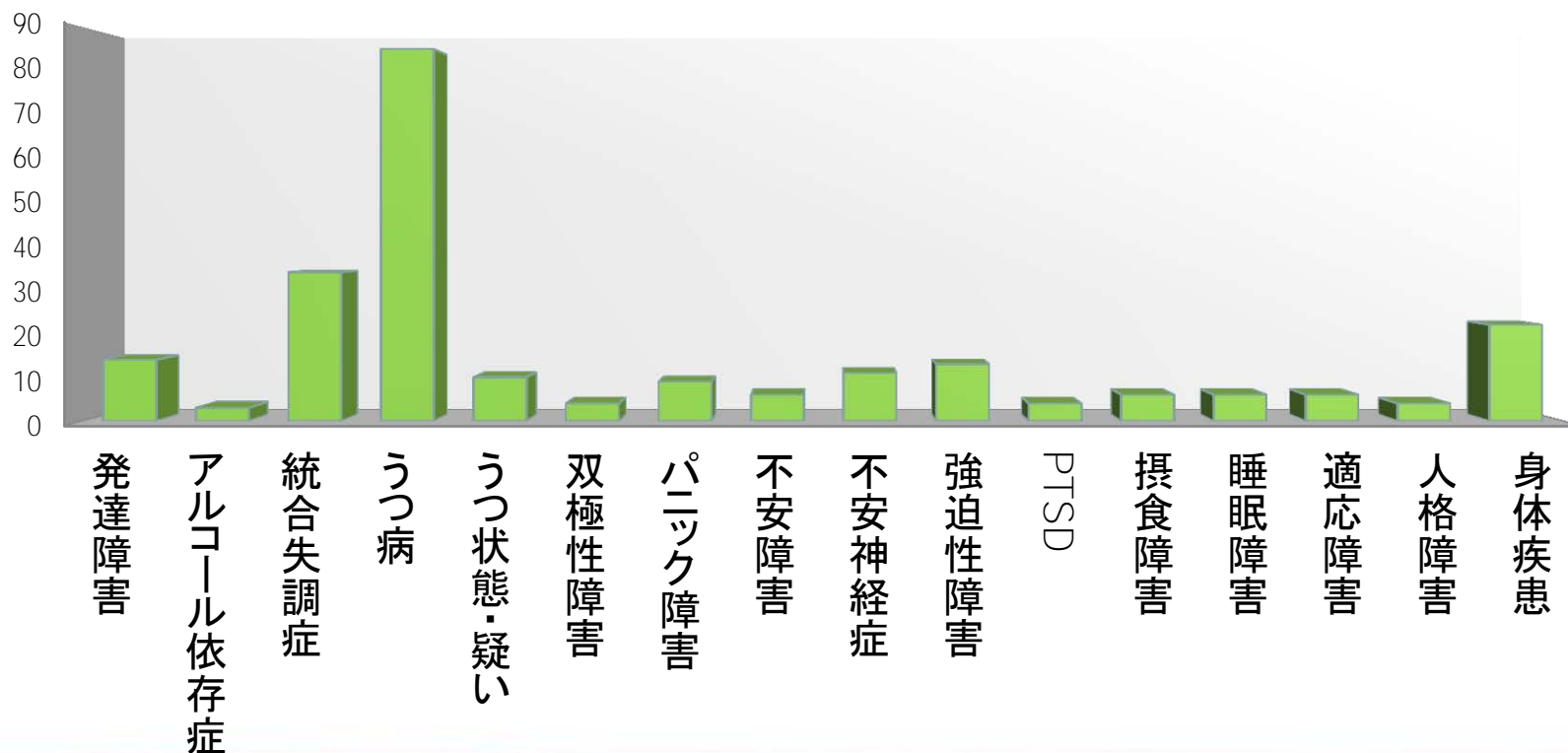


6-2. 全国一斉こころの健康電話相談

毎年1月末の日曜日に、全国の都道府県臨床心理士会共催で特設の電話相談を実施している。1日で約600本の相談がありますが、ここでも希死念慮を伴う相談が少なくない。以下は、2010年実施の電話相談で記載された診断名に言及された相談者の人数。



7. 東日本大震災心理支援センター

「東日本大震災心の相談電話」

週4日 夜の2時間

(フリーダイヤル)

東日本大震災によって被災された方々に対して、広く心のケアを提供することを目的とし、心理支援センターを2011年3月23日に開設。支援活動の一環として、電話相談を実施している。

＜中年の独身男性＞

ご本人が自宅を離れていた間に地震と津波が起こり、ご両親と自宅と仕事を一挙に失った。現在は内陸部で一人アパート暮らし。

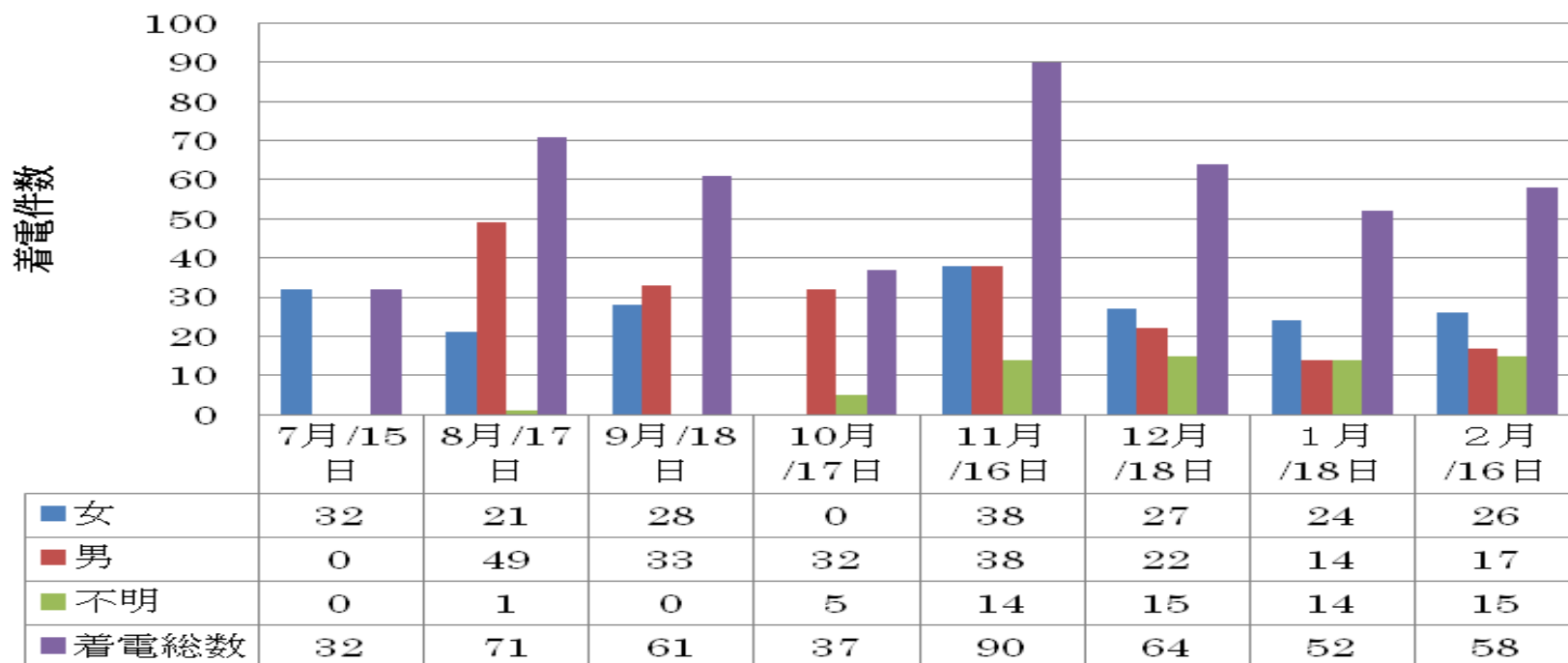
「家にいると気持ちがふさぐ。あのとき、家にいればよかった…」

一本一本の電話を大切にし、定期的に相談員同志の報告会を開催している。開始初期より繰り返し相談をされる方もある。

7-2. 東日本大震災心の電話相談

2011年7月～2012年2月まとめ

電話相談相談件数7月～2月

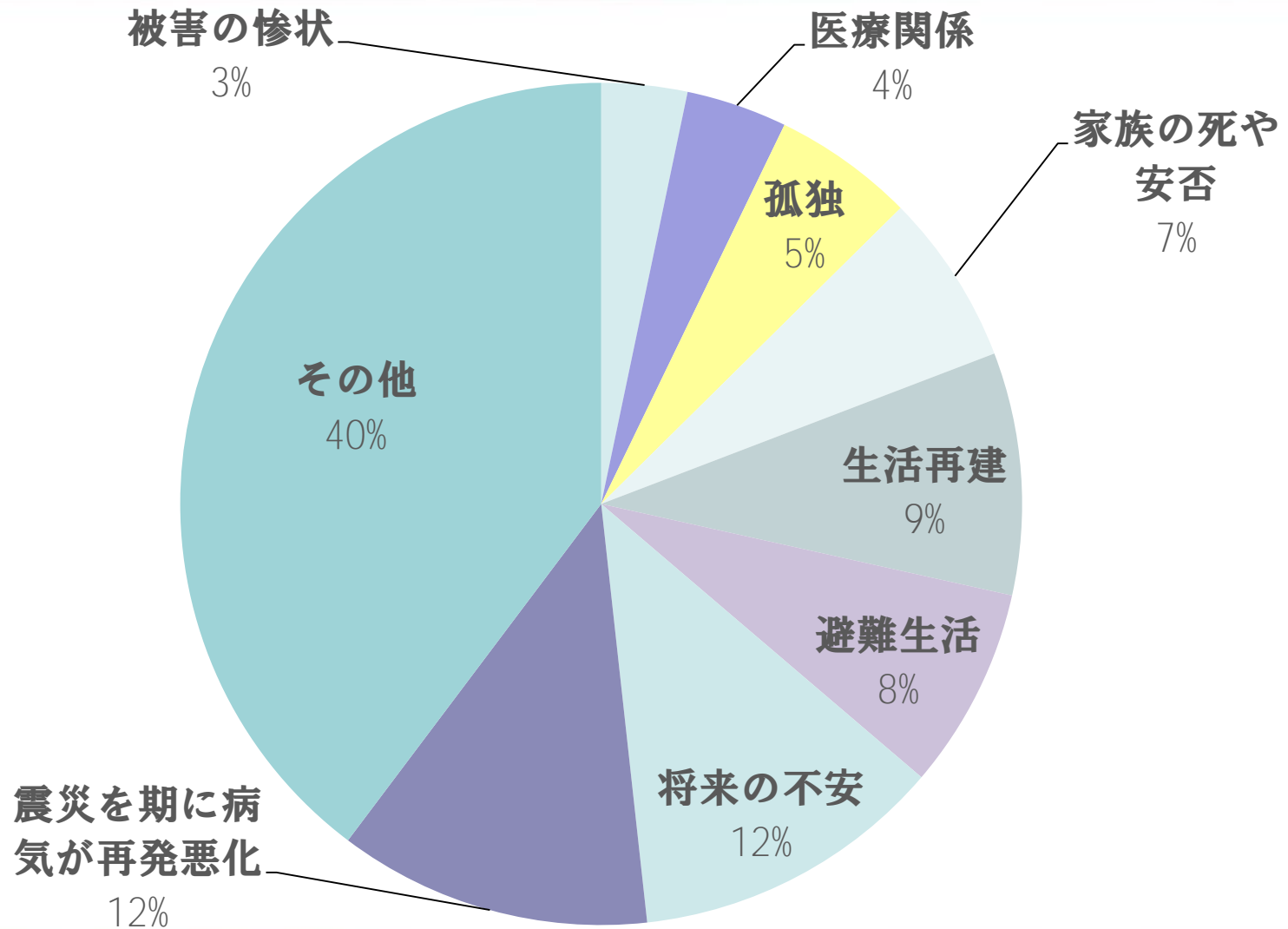


7月～2月まで半年間の受電件数は、465件

一般的な電話相談に比して男性の相談者数が多い要因として、

- ・就労者がかけやすい時間帯
- ・家族を支える役目を持つ男性のニーズが高まった事、が考えられる。

7-3. 相談内容



7-4. 利用者が報告した疾病名 29.2%が言及

